

「君待つと（新古今和歌集）」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 新古今和歌集について説明している次の文の（ア）～（エ）に当てはまる言葉・数字を答えなさい。

「新古今和歌集は、（ア）時代に（イ）の命令によって作られた。（ウ）巻から成っており、約（エ）首の歌を収めている。」

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

以下の歌について、問2～5に答えなさい。

道の辺に清水流るる柳かげしばしとてこそ立ちどまりつれ

問2 この和歌の作者を漢字で答えなさい。

問3 「道の辺に」の読み方を答えなさい。

問4 「清水」の読み方を歴史的仮名遣いで答えなさい。



問5 「しばしとてこそ立ちどまりつれ」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：少しの時間でも立ち止まるのは勿体がない
- イ：少しの時間であれば立ち止まることもできたのだが
- ウ：少しの時間だけ立ち止まるつもりだったのだが
- エ：少しの時間だけ立ち止まっていこう

次の和歌について問6～10に答えなさい。

見わたせば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮れ

問6 この歌の作者を漢字で答えなさい。

問7 【①】「紅葉」【②】「夕暮れ」それぞれの読み方を歴史的仮名遣いで答えなさい。

【①】

【②】

問8 「苫屋」の読み方を答えなさい。

問9 苫屋の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：粗末な小屋
- イ：宿
- ウ：誰も住んでいない家
- エ：古い家



問10 この歌に込められている作者の心情として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：なつかしさ
- イ：怒り
- ウ：さみしさ
- エ：悲しみ

次の歌について問11～14に答えなさい。

玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする

問11 「ながらへば」を現代仮名遣いに直して書きなさい。

問12 この歌の中での「玉の緒」とは何のことか。漢字1字で答えなさい。

問13 この歌の中での「忍ぶること」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

- ア：病とたたかうこと
- イ：貧しさに耐えること
- ウ：子供を守ること
- エ：恋心を秘めること



問14 この歌の作者が最も望んでいないことは次のうちのどれか。選択肢の中から選び
○で囲みましょう。

- ア：玉の緒が絶えること
- イ：玉の緒が長らえること
- ウ：忍ぶること
- エ：忍ぶことが弱ること



「君待つと」（新古今和歌集）
定期テスト対策練習問題（解答）

問1 【ア】鎌倉 【イ】後鳥羽上皇
【ウ】20（二十） 【エ】1980（千九百八十）

問2 西行法師

問3 みちのべに

問4 しみづ

問5 ウ

問6 藤原定家

問7 【①】もみぢ 【②】ゆふぐれ

問8 とまや

問9 ア

問10 ウ

問11 ながらえば



問 | 2 命

問 | 3 エ

問 | 4 エ

【解説】この歌は、玉の緒（命）が長らえてしまうと、忍ぶること（恋心を秘めている力）が弱ってしまうので、絶えるなら絶えてしまえ（命が絶えてしまえ）という作者の気持ちを詠んでいる。

そのため、作者が最も望んでいないことは、「忍ぶことが弱ること（恋心を秘めている力が弱まって秘めきれなくなってしまうこと）」である。

